

# 初めて「拒否」が発生 健全化推進機構の立入検査で

遊技産業健全化推進機構は11月15日、各社員団体にに対して「機構検査部の「立入検査を拒否した事例のお知らせ」を発信した。安心安全な遊技機の整備を通して業界

の健全化をめざす遊技産業健全化推進機構は、本年10月末時点までに1万5260店の立入検査を実施してきた。その間、検査に非協力的で拒否に近いケースも相当数

## <機構検査部の「立入検査を拒否した」事例のお知らせ>

平成24年11月7日に秋田県内のぱちんこ許可営業所に対して、当機構検査部の検査要員が、当該営業所が提出した誓約書に基づき立入検査を実施するために入店したところ、当該営業所の業者がこれを拒否しました。

当機構と致しましては昨日、緊急の審査会を開催し、本件問題について審議を行いました。当該営業所の業者は明らかに立入検査実施要項第4条に規定する「立入検査を拒否した」と判断致しましたので、この事実を関係団体の皆様にお知らせ致します。

なお、当機構と致しましては、立入検査実施要項第4条第4項に基づき、当機構のホームページに掲載している当該営業所の情報を6か月間削除致します。あわせて当機構の社員団体のみが閲覧可能な社員団体専用のホームページに「立入検査を拒否した」事実に関する情報を掲載する措置を執ります。

以上



健全化推進機構は広報誌「KIKoNEWS」でも再三に渡って検査協力をお願いと非協力的な問題点を指摘してきた

見られた。しかし機構検査員の粘り強い説得によってすべて検査を実行してきたが、今回初めて「検査拒否」のケースとなった。

遊技産業健全化推進機構が河上和雄代表理事名で各社員団体に送った文書は上記のとおり。

## 推進機構が社員総会 上半期1266店を検査

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は11月28日、東京・飯田橋のホテルメ

トロポリタンエドモントで臨時社員総会を開き、今年度上半期（4月1日～9月30日）の51都道府県での立入検査結果が報告された。これによると、立入店舗数は1266ホール、遊技機検査台

数は6503台（パチンコ3150台、回胴式3353台）、計数機

677台（玉346台、メダル331台）、計7180台だった。

検査活動が始まった2007年以降5年半の累計では、検査日数845日、検査店舗数1万5417ホール、検査台数6万5512台（うち計数機1108台）となった。

## メダル工業会が通常総会

## 大泉理事長以下全員留任

遊技場メダル自動補給装置工業会（メダル工業会）は11月16日、東京・新橋の第一ホテル東京で通常総会を開き、第24期（12年10月～13年9月）の事業計画を承認した。販売に関する事業に関して、「経営合理化、不正防止等に寄与することを目的に開発されたのがメダル自動補給装置であり、さらなる器具の改良・開発・普及向上に努めるとともに、各種器具の共同販売事業を行う」とし、販売見込み個数については、「パチスロは回復基調にあるが、23期下期の販売個数が前年並みに落ち込んでいる」等から、23期の20%減と見込んでいる。

役員改選で大泉政治理事長以下全員が留任、副理事長に吉村泰彦氏が新任された。

# 機歴情報を一元管理

## 日工組が「システム」を提案

第65回セキュリティ対策委員

会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は11月26日、日遊協本部会議室で開かれ、パチンコ遊技機の出荷から廃棄までの履歴情報を日工組で一元管理する「機歴管理システム概要書（案）」が日工組から提案された。現在、年間の新台出荷台数は約300万台、中古機の流通台数は約200万台の規模に対し、約100万台の行方が把握できていない。これら行方不明台数を減



日工組が機歴管理システムを提案したセキュリティ対策委員会

少させることを目的としている。

システムの概要は、①遊技機メーカーからの出荷情報 ②ホールからの設置情報 ③ホールからの撤去情報 ④販社からの中古移動情報 ⑤処理会社と遊技機メーカーからの廃棄情報——の5種類の情報を、それぞれインターネット回線を使って日工組の機歴管理センターに集中させ、一元管理する。日工組では今後、ホール側、販社側、処理会社側等それぞれの情報発信体制等を順次検討しながらシステムを構築して行き、来年6月ごろをメドにテスト運用を始めたこととしている。日電協も同様の方向で検討することになっている。

「いわゆるゴト行為等への迅速な対応を講じるためのガイドライン」の中に、遊技機の発火等に対処する項目を追加補正する件で協議した。追加補正案として「安心・安全に影響を与える遊技機の不具

合の対応措置」の項目が既に提案されており、この日は事務局側と日電協側からその修正案が提案された。年内をメドに追加補正したガイドラインをまとめ、その後メーカーへの説明期間を経て、来年5月の新協定締結に間に合わせたこととしている。

### リサイクル推進委員会

## 選定要綱の改正に着手 6業者が再実査で適合

第61回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事。日遊協、日工組、日電協、全日遊連、全商協、回胴遊商、遊技機メーカーと愛材協）は11月19日、日工組会議室で開かれた。リサイクル選定業者のうち、破産手続き中の（株）ピーネットイチサンイチ（神奈川県）の選定業者資格取り消しについて合意した。これを選定業者は同日現在39社となった。現行の遊技機リサイクル業者選定要綱（1998年制定、3度改正）は、更新、異議申し立て等であいまいな事項が見られるため、改正することを確認した。そのため新たにたき台を事務局（日遊協）で作成・提出することになった。

2002年までに選定された20業者を現行の選定基準で実査し直す作業で、9～11月に6業者を再実査し、いずれも適合との判断が報告された。

### インターネット広告協議会

## 改定ガイドラインを承認 チラシ広告の表現で補強

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷（株）、IMC（株）で構成）が11月9日、日遊協本部会議室で開かれた。「インターネットを活用したパチンコ店舗のチラシ広告ガイドライン」の改訂版が提案され、承認された。これはさる7月20日付けで出された警察庁通知「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について」を受けて改訂されたもので、「許容されない表現事項（キャラクターコピー、画像等が対象）」に、通知に則った7項目と独自に加えた2項目が掲載された。今回の承認を受けて、新ガイドラインは代理店に通知された。

「パチンコのチラシ Powered by Shufool」の10月の掲載枚数が報告された。10月は2534枚で、9月の2820枚を下回った。

## 第4回日遊協チャリティゴルフ

### 盲導犬協会に36万円寄贈 関連団体から124人参加

(財)日本盲導犬協会への活動支援

のため、第4回日遊協親睦チャリティゴルフコンペ（大会会長・深谷友尋会長、実行委員長・庄司孝輝東京都・関東支部長）が11月2日、千葉県野田市、千葉カントリークラブ梅郷コースで開かれた。チャリティとして36万3千円の募金が集まり、プレー終了後にクラブハウスで行われた贈呈式で深谷会長から井上幸彦日本盲導犬協会理事長に手渡された。井上理事長は「皆様の浄財は視覚障害者の自立、社会参加に役立っています。皆様のお気持ちを大事にして有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べた。

コンペには日遊協会員企業や、

ホール、メーカー、販社など関連団体の役員、組合員計124人が参加したほか、河野晃一郎プロが招待され、プレーに加わってコンペを盛り上げた。河野プロはプレー終了後、練習場で希望者にアプローチなどのレッスンを行った。優勝は江藤征弘氏（株）マースエンジニアリング）、準優勝は米津



深谷会長からチャリティーの浄財を受ける井上理事長（左）



表彰式ではあちこちで歓声が上がった

隆行氏（グローリー株）だった。

関連団体からのおもな参加者は次の通り。（順不同、敬称略）

- 青松英和（全日遊連理事長）▽大野春光（同副理事長）▽里見治（日電協理事長）▽原田亨（同常務理事）▽中村泰仁（回胴遊商副理事長）▽近藤久雄（同）▽中島基之（PCSA専務理事）▽恵良道信（PSA専務理事）▽阿部恭久（都遊協理事長）▽鈴木薫（同副理事長）▽小田精一（同）▽松田洋（同専務理事）▽中村昌勇（東遊商理事長）▽水口佳孝（同副理事長）▽高島和男（同専務理事）▽増田裕之（同）▽佐々木勝司（同常務理事）▽栗原真（遊運協理事長）

#### ホール関係5団体代表者会議

#### 大筋合意し、詰めの作業へ

「子どもの車内放置 予防対策マニュアル」

ホール関係5団体代表者会議は11月28日、東京都千代田区のホテルメトロポリタンエンドモントで開催、日遊協・深谷友尋会長、全日遊連・青松英和理事長、同友会・松田高志代表理事、余暇進・千原行喜副会長、PCSA・金本朝樹副代表理事ら17人が出席した。

5団体は、昨年8月にも車内放置による乳児の死亡事故が起きた

ことから、事故防止対策の取り組みを強め「子どもの車内放置防止対策マニュアル」の作成を進めてきたが大筋で合意し、詰めの作業に入るようになった。

リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）の認定NPO法人化を支援するために、5団体はRSNの賛助会員（年会費3000円）を増やす取り組みを始め、最初の段階として各団体の幹部が入会するように手配することになった。

5団体代表者会議の定例化について話し合わせ、3月、6月、11月の年3回開催することを決めた。

#### ホール5団体風営法WG

#### 遊技料金などで協議

ホール5団体風営法検討会WG（ワーキンググループ）は11月12日、日遊協本部会議室で開かれ、全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSAの5団体の幹部が出席した。買い取り・遊技料金等について協議した。また、政令の関係で保通協の検定試験料金、ホールの許可申請や遊技機の入替え等の申請手数料についての改正作業の説明があった。

## 余暇進が秋季セミナー

# へビー依存に警鐘 玉川課長補佐

一般社団法人余暇環境整備推進協議会は11月13日、東京・港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで、秋季セミナーを開いた。警察庁保安課、玉川達也課長補佐は講話で、「最近発表された『レジャー白書』では、パチンコ参加人口が24・6%も減少した。4人に1人が離れたということだ。一方で市場規模は2・5%しか落ちていないから、へビーユーザーへの依存度が高まり、流れに逆行する現象だ。継続的にライトユーザーの確保、新規のファン獲得に努めてほしい」と述べた。その上で「のめり込み」や広告、宣伝の問題等でグレーゾーンを追求しようとする営業者がまだ散見されるとして、射幸性の抑制と遵法営業の徹底を呼びかけた。

## 討論に大久保副会長が参加

(株)ゲームカード・ジョイコホールディングス代表取締役会長兼社長、石橋保彦氏が「進化への決断

玉川課長補佐

「その刻は今」と題して講演した。石橋氏もへビーユーザー頼みの現象に触れ、「今、業界すべてが力を合わせて窮状を乗り切らないうと、後に大変な結果が待っているだろう」と指摘した。これに関連して、日工組が進めているECO遊技機の開発を説明した。

最後に、「パチンコ文化を後世へ継承するために」と題して、ホール5団体役員パネルディスカッションが行われ、全日遊連・大野春光副理事長、日遊協・大久保正博副会長、同友会・金光淳用副代表理事、PCSA・金本朝樹副代表理事、余暇進・金海龍海副会長、同・千原行喜副会長の6人が出席。「地域社会とどう共生していくか」「顧客をどう維持していくか」などについて意見を述べた。

## 充実の349作品

### 福岡のこども絵画コンクール

日遊協九州支部が協賛する第5

回こども絵画コンクール作品展及び表彰式が11月11日、福岡市・天神中央公園で開かれた。このコンクールは福岡県内児童養護施設の小学生・中学生が参加し、小学低学年・高学年・中学の部から最優秀1名など32名が表彰された。

今回は5回目の開催で、「ゆめ」「みらい」がテーマで、16施設から349作品が集まった。昨年より120作品も多く、内容も充実しており、主催の福岡県遊協は「子どもに夢と未来を持ってもらい大きく羽ばたいてもらおう意味からも、来年以降も継続したい」としている。

## 九州支部が新活動

### 毎月9日に「斉清掃」

#### 「クリーン・デー」を設定

九州支部役員会が11月20日、福岡県遊技会館会議室で開かれ、今後の支部ボランティア活動（地域貢献活動）の取り組みを決めた。

活動の標題は「パチンコが日本をキレイにします。まずは九州から」とし、毎月9日を「クリーン・デー」に設定して、各店舗（営業所）が周辺で地域清掃活動を続けていく。支部会員以外の店舗にも参加を募るほか、最終的には業界全体

に広げたいとしている。「9」は「クリーンのク」と「九州の九」をかけた。役員会には樋口益次郎支部長以下15人が出席した。

## 店長・管理職講習・試験

### 3月7日、東京で

ホールの店長や店長候補者、さらにメーカー、設備機器等の遊技産業に働く管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行う「店長・管理職能力開発講習・試験」が、来年3月に東京で行われる。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

#### 〔東京会場〕

2013年3月7日（水）

日遊協本部会議室

午前10時開始、午後5時半終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。

日遊協ホームページ

<http://www.nichiyukyo.or.jp/>

日遊協事務局

電話 03・35533・4333(代)

FAX 03・35533・4334

## 不正対策室会議

### 一般の入力数436件。少し回復

不正対策室会議（室長・伊東愼吾日遊協常務理事）は11月19日、

日遊協本部会議室で開かれPSIO（不正対策情報機構）への入力報告を行い、委員11人がゴト・不正情報について検討した。

10月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から32件、一般ファンから436件の入力があった。一般ファンの入力とは昨年10月（808件）より372件減っているが、大きく落ち込んだ前月9月に

比べると144件増えている。

### スカパーが取材、報道 第3回エッセー・絵手紙C

スカパー！（スカイパーフェクトV）の番組「パチテレ！情報007」のスタッフが11月1日、日遊協本部を訪れ、広報調査委員会の佐藤聖子副委員長から「第3回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール」について取材した。同副委員長はコンクールの趣旨、過去2回の内容などを説明し、視聴者に参加を呼びかけた。

取材を受ける佐藤副委員長



同番組はパチンコ・パチスロ業界の最新ニュースや出来事、最新機種情報を報道している、業界に特化した総合情報番組。取材した内容は11月12日から1週間にわたって午後9時の時間帯で報道された。「第3回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール」は11月1日から来年2月末まで募集が行われている。

エキスパート部門（中学生以上チーム）の熱戦



### プロバが主催し 「フットサル大会」 69チームが熱くプレイ

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等の娯楽施設を展開するプロバグループ（平本直樹代表）は10月27、28日、地域スポーツ振興の一環として、同市内のサンフレッチェ・ミズノフットサルプラザで「第18回プロバカップ・フットサル大会」を開いた。小学生から大人まで69チーム（719人）が参加し、熱く楽しいプレーが繰り広げられた。大会を盛り上げるイベントとして、「なでしこリーグ」参加を目指す

## DECEMBER

### 12月の行事予定

3日（月）	14:00～	中古機流通協議会（全商協）
5日（水）		南三陸町ボランティア派遣（東京都・関東支部）7日まで
7日（金）	10:00～16:50	取扱主任者講習・試験（更新）（東京・都市センターホテル）
9日（日）	10:00～	パチンコ産業界合同就職説明会（幕張メッセ）
10日（月）	13:30～	不正対策室会議
	15:00～	ホール5団体風営法検討会WG
11日（火）	15:30～17:30	景品関連促進PT
12日（水）	16:00～	貯玉補償基金理事会（グランドアーク半蔵門）
14日（金）	15:30～17:30	広報調査委員会
17日（月）	13:30～16:30	救命講習
18日（火）	15:00～17:00	遊技機委員会
19日（水）	16:00～17:30	セキュリティ対策委員会
20日（木）	13:30～16:30	救命講習
	15:30～17:30	風営法PT
28日（金）		仕事納め

す地元的女子サッカーチームとジュニア部門選抜チームによるエキシビジョンマッチ、小学生を対象にサッカー教室が開かれたほか、東日本大震災被災者支援のための「キックターゲット（キックによる的当てゲーム）」を実施、3万1400円の義援金が集まった。

## ART狙いの警戒強化

中部支部セキユリテイー対策部会  
新部会長に内ヶ島隆寛氏

中部支部セキユリテイー対策部会が10月3日、名古屋市中・アイリス愛知で開かれた。新たに就任した内ヶ島隆寛部会長は「足立利美前部会長からパトロンを受け、築かれた内容を継承しながらやっていきたい」と協力を要請した。

ゴト事案では、パチンコでは磁石ゴトが多く、パチスロではほとんどがARTを狙った手口で「ショート(異物を挿入)」「不正ハートネス」によると報告された。

## 中部支部役員会 依存対策など強化へ

中部支部役員会が11月13日、名古屋市中・アイリス愛知で開かれ山口悟支部長以下7人が出席し、当面の課題について協議した。山口支部長は「遊技業界が厳しい状況にあるなか、中部支部においても広告宣伝の問題、ゴト・不正対策、依存問題などひとつひとつに真摯に取り組みたい」とあいさつした。依存問題は「啓発ステッカー」など着実に浸透させるために、協力の徹底が必要とされた。支部体制の強化のためにホールを中心に2、3名の副支部長を置く件に関して、早い時期の選出を進めることになった。

## 東北支部 日遊協東北支部が移転

日遊協東北支部が移転、11月20日から新事務所業務を開始した。新所在地は次の通り。

〒980・0014  
仙台市青葉区本町1・5・28  
カーニープレイス仙台駅前通203号  
TEL022・2008・7505

FAX022・2008・7506

## 会員消息・新規入会

11月15日の第4回定例理事会で5社(正会員2、賛助会員3)の入会が承認された。

### ●新規入会(正会員)

▼アドアーズ株式会社

代表取締役会長・藤澤信義

東京都港区虎ノ門1・7・12

アミューズメント施設の運営・企画・開発。1967年(昭和42)設立。資本金44億500万円。従業員356人(ほかにアルバイト)。(推薦人・東和産業(株)岸野誠人)

▼有限会社BeeSmile

代表取締役・平川智也

岩手県矢野町大字高田13・236・1

版社。東北遊商加盟。2005年(平成17)設立。資本金300万円。役員2人、従業員19人(ほかにアルバイト)。(推薦人・(株)ニラク谷口久徳)

▼新規入会(賛助会員)

▼株式会社タマ工房

代表取締役・河野健治

東京都品川区旗の台6・30・10

ホール関係の内装、建設工事。2001年(平成13)設立。資本金1000万円。役員3人。従業員6人(ほかにアルバイト)。(推薦人・日遊協専務理事篠原弘志)

▼株式会社スリーストン

代表取締役・白石光男

埼玉県草加市瀬崎3・16・8

ホール内の電気機械器具の製造・販売。1991年(平成3)設立。資本金5000万円。役員2人、従業員20人。(推薦人・(株)安田屋加藤修)

▼株式会社私Entertainer

代表取締役・袴田泰規

長野県東御市常田72・13

パチンコ関連の人材教育コンサルティング。2011年(平成23)設立。資本金1000万円。役員1人(ほかにアルバイト)。(推薦人・東京都・関東支部長庄司孝輝)

●代表者変更

▼株式会社ミズホ

代表取締役・湯澤哲

11月1日

▼株式会社SINKプレイモア

代表取締役社長・大畑政夫

11月21日

●本社移転

▼株式会社ブローバ

代表取締役社長・大畑政夫

11月27日

TEL082・831・2608

FAX082・870・3195

# DATA SPOT

## 店舗数、2か月連続の大幅ダウン

全日遊連は11月21日、店舗数、遊技機台数の2012年10月分を発表した。店舗数は、前月比で一気に32店減り、前月の28店に続いて大きな落ち込みとなった。1万1167の店舗数は、昨年10月(1万1318店)と比べても、この1年間でマイナス151店と大幅な減少となった。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス7万6100台(昨年10月287万4801台)と下がり続け、一方パチスロ機はプラス9万2257台(昨年10月132万595台)と順調だ。パチスロは前月比で202台増と数は少ないながら、昨年4月から19か月連続で前月比増を続けている。<注>店舗数、および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,332	30	21	138 (11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137 (14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,268	9	36	144 (23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,269	29	38	134 (14)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321
5月	11,258	16	28	134 (12)	2,833,776	1,390,461	160	4,224,397
6月	11,227	11	34	138 (21)	2,825,019	1,395,141	160	4,220,320
7月	11,222	14	26	131 (12)	2,822,070	1,401,427	160	4,223,657
8月	11,227	26	21	132 (17)	2,817,356	1,410,362	160	4,227,878
9月	11,199	12	34	138 (16)	2,810,983	1,412,650	156	4,223,789
10月	11,167	14	35	149 (23)	2,798,701	1,412,852	156	4,211,709

## 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	231	+1
東北	518	+3
東京	530	+3
関東	1497	0
中部	450	+3
近畿	823	+7
中国	276	-1
四国	143	+1
九州	591	+2
全国計	5059	+19

(2012年10月31日現在)

## 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

### ●事務所移転

▼株式会社ファンタジスタ東京事務所

東京都豊島区東池袋2・21・1

桐生ビル5F

TEL03・6907・3015

FAX03・6907・3016

11月5日

### ●本社移転

▼株式会社ブローバ

広島市安佐南区相田1・1・33・3F

TEL082・831・2608

FAX082・870・3195

11月27日